

大学院医学系研究科  
博士後期課程  
(応用分子生命科学系専攻)

【論文博士】

学位の種類：博士（生命科学）

学位申請の手引き

山口大学医学部学務課

[http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~gakumu/bunai\\_g/gakui/gakui.htm](http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~gakumu/bunai_g/gakui/gakui.htm)

平成27年2月

## 目 次

手引き	・・・・・・・・ 1
はじめに	・・・・・・・・ 1
Ⅰ. 予備審査申請の期間	・・・・・・・・ 1
Ⅱ. 予備審査申請	・・・・・・・・ 2
Ⅲ. 学位申請	・・・・・・・・ 3
Ⅳ. 書類の作成上の留意点	・・・・・・・・ 4
Ⅴ. 学位の審査の概略	・・・・・・・・ 6
Ⅵ. 学位申請に関する問い合わせ先	・・・・・・・・ 6
Ⅶ. 個人情報保護について	・・・・・・・・ 7
Ⅷ. 学位論文の内容を特許出願することについて	・・・・・・・・ 7
Ⅸ. 学位論文の公表について	・・・・・・・・ 7
学位論文公開についての同意書	・・・・・・・・ 8
学位論文の作成要領	・・・・・・・・ 9
主論文，参考論文の別刷作成要領	・・・・・・・・ 10
参考論文の提出について	・・・・・・・・ 11
論文目録の記載例	・・・・・・・・ 12
履歴書の記載例	・・・・・・・・ 13
学位論文の見本	・・・・・・・・ 15
学位論文審査実施要項（抄）	・・・・・・・・ 16
実施要項の申し合わせ（抄）	・・・・・・・・ 17

はじめに

予備審査申請するためには、次の条件が整っていることを確認してください。

- ①学位論文の関連論文が掲載予定（アクセプト済み）又は掲載済である。  
（査読中の段階でも予備審査は申請できます。）
- ②必要な研究歴（本学での2年間の研究歴を含む）の年数を満たしている。  
（学位申請時に満たす予定であれば予備審査申請は可能です。）
- ③本学が実施する外国語試験に合格している。
- ④予備審査申請時に本学に研究生、研修医、医員、助教等の籍がある、又は、籍が無くなってから2年以内である。

特に、②の研究歴については、学務課で確認してください。

## I. 予備審査申請の期間

- ・原則として、毎月15日までに申請する。

## II. 予備審査申請

すべての書類各1部を学務課に提出し、申請前のチェックを受けて下さい。

その際、論文目録の参考論文欄に記載した全ての論文も提出してください。

その後、修正して必要部数揃えて申請してください。（提出は郵送でも可）

### 1. 学位予備審査申請書……1部

別紙様式に必要事項を記入し、正式に申請する際は、指導教授の承認印を得て下さい。

### 2. 論文目録……16部

見本を参考に、申請者がパソコン等で作成して下さい。

### 3. 学位論文……5部

テーシス形式で作成し、ホッチキス等で止めてください。

### 4. 学位論文の関連論文（別刷）……16部

「学位論文の関連論文」とは、学位論文の基になった論文です。

掲載予定の場合は、掲載予定であることを証明するもの（手紙又は電子メール等）のコピーを1部提出して下さい。掲載予定に至っていない場合は、査読中であることがわかるものを提出してください。

### 5. 学位論文の要旨……16部

申請者がパソコン等で作成して下さい。

### 6. 履歴書……16部

見本を参考に、申請者がパソコン等で作成して下さい。

### 7. 最終学校の卒業証明書又は卒業証書の写し……1部

卒業証明書は必ず本紙を提出してください。

### 8. 外国語試験合格証明書……1部（本研究科の単位修得退学者は不要）

9. その他研究歴を確認できるもの

本学における医員，研修医，教育職員の在籍期間並びに本研究科研究生，大学院生の在学期間については，提出不要です。

10. 審査委員推薦書

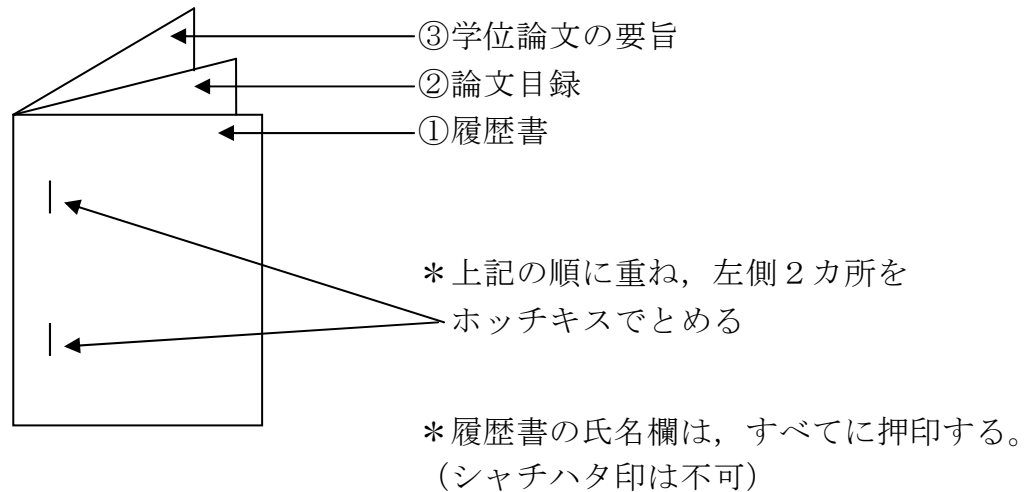
指導教授が作成する書類ですので，指導教授へ依頼してください。

11. 審査手数料 57,000円

(改訂される場合がありますので，学務課で確認してください。)

なお，共著者が10名を超える場合（10名までは不要）は，指導教授の理由書（様式任意）が必要です。

\* 「履歴書」，「論文目録」及び「学位論文の要旨」は，次の要領で16部製本する。



### Ⅲ. 学位申請

予備審査委員会から予備審査の合格の通知があったときは、次の書類を作成し必要部数揃えて申請してください。（提出は郵送でも可）

「学位申請者調書」，「承諾書」については，学務課に提出し，学位申請前のチェックを受けてください。

その後，修正して必要部数揃えて申請してください。（提出は郵送でも可）

なお，学位論文の関連論文は，掲載予定（アクセプト済み）又は掲載済みであること，また，研究歴を満たしていることが必要です。

#### 1. 学位申請書…… 1 部

別紙様式に必要事項を記入し，正式に申請する際は，指導教授の承認印を得て下さい。

#### 2. 論文目録…… 1 1 部

予備審査申請時と同じものを提出してください。（予備審査で修正を求められた場合は修正したもの）

#### 3. 学位論文…… 1 1 部

予備審査申請時と同じものを提出してください。（予備審査で修正を求められた場合は修正したもの）

#### 4. 学位論文の関連論文（別刷） …… 6 部

予備審査申請時と同じものを提出してください。掲載予定の場合は，掲載予定であることを証明するもの（手紙又は電子メール等）のコピーを1部提出して下さい。

#### 5. 学位論文の要旨…… 1 1 部

予備審査申請時と同じものを提出してください。（予備審査で修正を求められた場合は修正したもの）

#### 6. 参考論文（別刷） ……各 6 部

参考論文は，学位論文の関連論文を書くにあたり，参考にした論文ではありません。  
掲載予定の論文がある場合は，掲載予定であることを証明するもの（手紙又は電子メール等）のコピーを1部提出して下さい。

#### 7. 履歴書…… 1 1 部（※ 1 1 部全ての氏名の右側に押印してください。）

予備審査申請時と同じものを提出してください。（予備審査で修正を求められた場合は修正したもの）

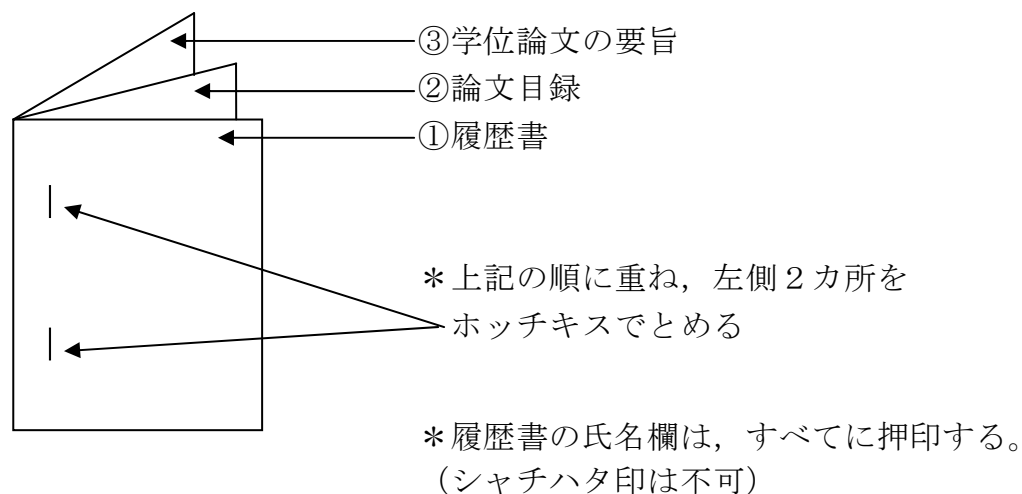
#### 8. 学位申請者調書…… 1 部

申請者がパソコン等で作成してください。

#### 9. 承諾書…… 1 部

学位論文の関連論文が共著の場合は，所定の様式に共著者全員の署名（自署）を得て下さい。

\* 「履歴書」，「論文目録」及び「学位論文の要旨」は，次の要領で11部製本する。



#### IV. 書類の作成上の留意点

1. 「履歴書」，「論文目録」，「学位論文の要旨」の原稿を，見本を参考にパソコン等で作成する。

すべての「履歴書」に，氏名の右に押印する。

研究歴のうち，期間が定かでない場合は下記へ問い合わせ確認すること。

研究生（医学研究生を含む）に関すること

医学部学務課大学院教務係 TEL 0836-22-2058

本学教育職員，医員，研修医に関すること

医学部総務課人事係 TEL 0836-22-2015

2. 学位論文の関連論文が共著の場合は，「承諾書」に共著者全員の署名（自署）を得ること。

共著者が遠隔地におられる場合や共著者が多い場合は，所定の様式をコピーし，複数枚に分けてもよい。

共著者が死亡している場合は，死亡していることを第三者が証明した書類を添付して下さい。また，共著者の所在が不明の場合，承諾書に換わる「理由，経緯などを記載した書類」を指導教授が提出することになります。

3. 「学位論文の関連論文」別刷，「参考論文」別刷

掲載予定や，掲載されたが別刷が間に合わない場合は，自分で別刷を作成する。

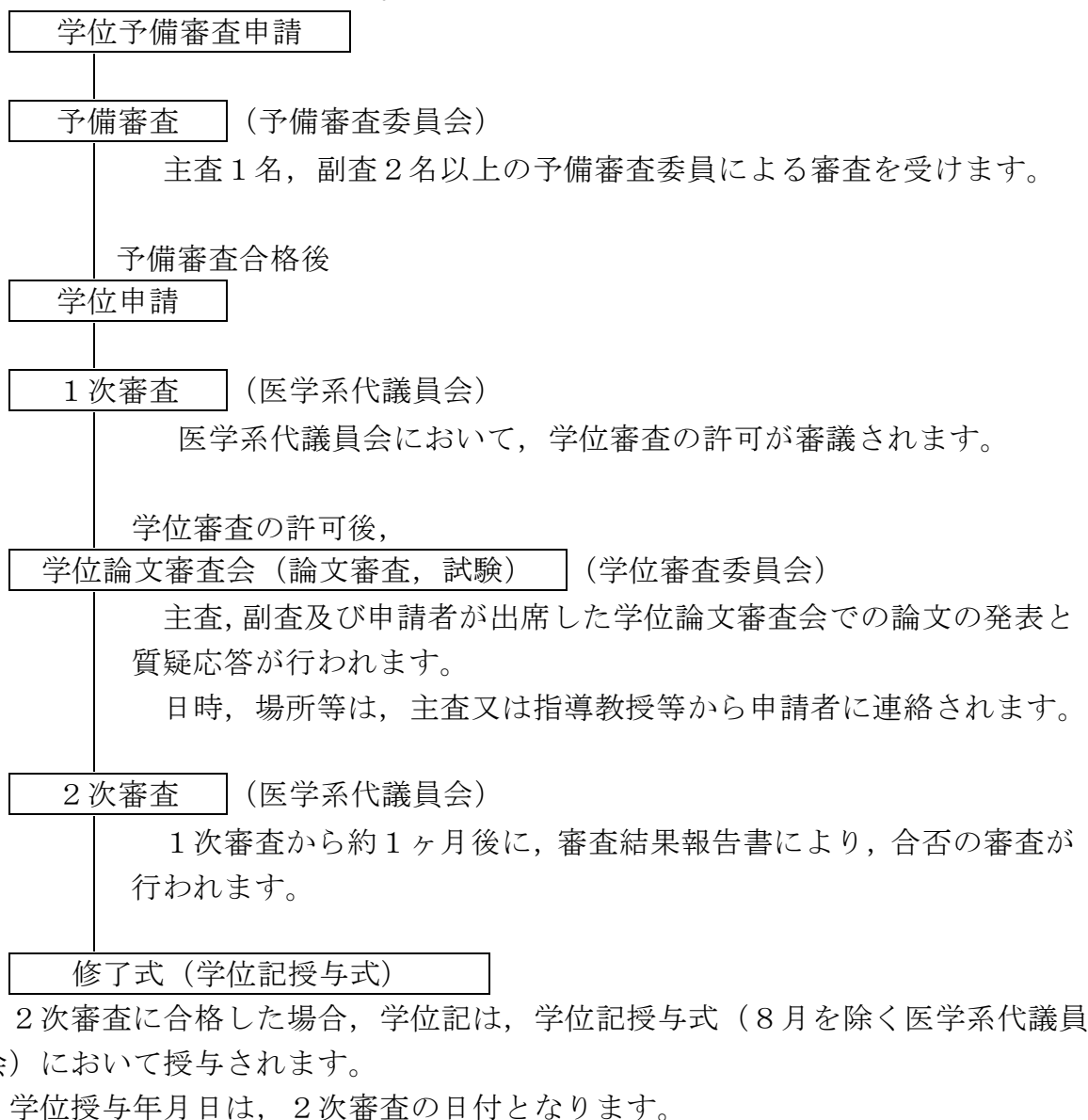
自分で作成する場合は，別刷に準じて，カラー写真がある場合はカラーコピーで両面コピーで作成する。

提出予定ではない参考論文のうち，別刷が1部も無い場合（コピーできる原稿も無い場合）は，無しのままでよい。

4. 最終学校の卒業証明書又は卒業証書の写し  
卒業証明書は必ず本紙を提出してください。卒業証書の写しは必要に応じてサイズを変更しても良い。
5. 外国語試験合格証明書  
試験合格後に医学部から送付された証明書のみを提出する。  
紛失した場合は学務課へ問い合わせてください。
6. その他研究歴を確認できるもの  
他大学における研究歴に関するものは、当該大学等へ証明書を求めてください。  
本学における研究生、医員、研修医、教育職員に関するものは提出不要です。
7. 学位申請者調書  
指導教授の署名及び印は無くても良い。
8. 「参考論文」を各6部用意する。  
なお、論文目録に記載した参考論文が10編以上ある場合は、その中から代表的なものの10編以内を選び、それを各6部用意する。
9. すべての書類を必要部数揃え、指導教授の承認（承認印）を得た後、学務課へ提出する。

## V. 学位の審査の概略

審査の概略は次のとおりです。



## VI. 学位申請に関する問い合わせ先

〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1

山口大学医学部学務課

TEL 0836-22-2055 FAX 0836-22-2059

E-mail : me233@yamaguchi-u.ac.jp



## Ⅶ. 個人情報保護について

学位申請書等の内容は、申請者の個人情報ですから、慎重に取り扱います。

提出された書類は、審査及び学位記授与手続きに使用します。審査終了後、学務課において必要部数保存すると共に、次の用途に使用する以外は、焼却処分します。

- (1) 学位授与された者の学位論文は、国立国会図書館へ必要部数送付します。
- (2) 学位授与された者の学位記番号、氏名、授与年月日等は、検索用として整理する他、各種調査等の依頼に対しては、個人を特定できない内容で外部へ提供します。

## Ⅷ. 学位論文の内容を特許出願することについて

学位申請書に添付した学位論文は、申請後、学位論文審査会においてその内容を発表することになります。

申請される方で、特許出願を予定している場合や特許出願の可否を検討している場合は、「学位論文審査会の開催に関する取扱い」に定めるとおり配慮することになっています。

該当される方は、学位申請時に、その旨の書面を添付してください。（様式は任意です。）

## Ⅸ. 学位論文の公表について

学位規則の一部を改正する省令(平成 25 年度文部科学省令第 5 号)に伴い、博士論文のインターネット公表が義務化されました。このため、本学では平成 25 年度以降授与される博士論文は全て山口大学学術機関リポジトリ (YUNOCA) 上で公開することとなります。

つきましては、学位論文審査及び最終試験に合格し修了が認定された後次ページにある同意書および論文のデータ提出をお願いいたします。

## 学位論文公開についての同意書(博士)

山口大学大学院医学系研究科長 殿

私が執筆した学位論文を公開することについて同意します。

\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

研究科・専攻・ コース	医学系研究科											
学籍番号												<input type="checkbox"/> 乙種のため学籍番号なし
氏名 (本人署名・印)												
住所 ※卒業後の連絡 先をご記入くださ い。	〒											
Tel.												
E-Mail												
論文名												

### データベースにおける学位論文の電子的公開と複製について

データベースでは、論文題目、要旨および本文を、広くインターネットに公開します。  
公開された論文は、複製(ファイルの複製、印刷による複製等)をすることができます。

**【個人情報の取扱について】** ご記入いただいた個人情報(学籍番号, 連絡先)は、山口大学における博士学位論文管理業務にのみ使用し、第三者に公開されることはありません。

提出先 : 山口大学医学部学務課大学院教務係  
住 所 : 〒755-8505  
宇部市南小串1-1-1  
E-mail : me233@yamaguchi-u.ac.jp

## 学位論文の作成要領

申請時の学位論文は、次の要領で作成してください。

1. A4縦サイズの内紙で作成する。
2. 表紙又は1枚目となる頁には、次のことが必ず記載されていること。  
論文の題目  
申請者氏名  
申請者の所属  
作成年月
3. 表紙の次頁に、目次を付ける。
4. 論文中に写真、図表がある場合、わかりやすい状態にする。  
判断しがたい場合は、指導教授に相談する。
5. 製本は、左綴じ、2カ所をホッチキスでとめる。

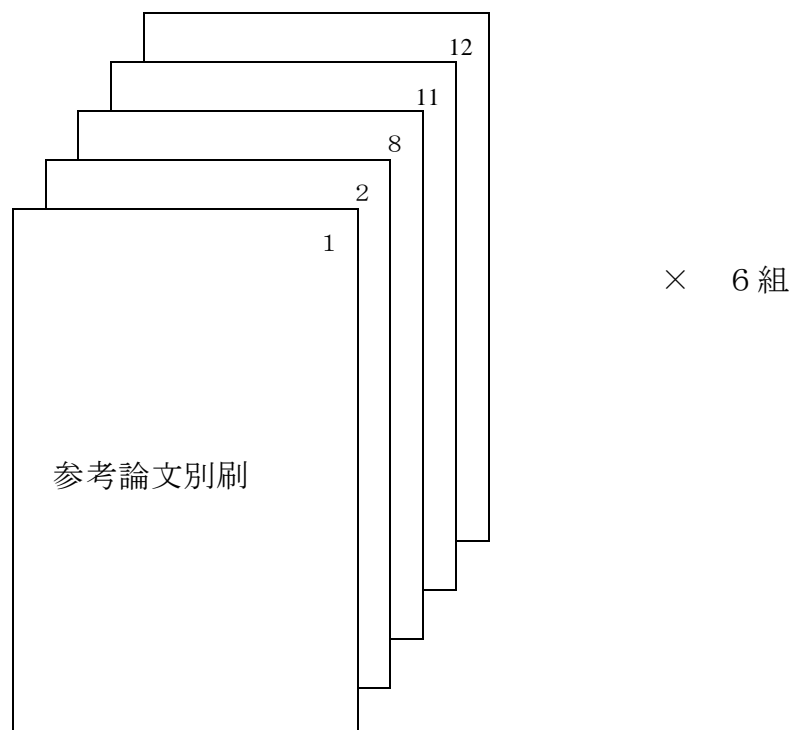
## 主論文、参考論文の別刷作成要領

申請時の主論文、参考論文が掲載予定や掲載されたが別刷が申請に間に合わない場合は、次の要領で申請者本人が別刷を作成してください。

1. 別刷に、できるだけ近い形にすること。
2. 表紙又は1枚目となる頁には、次のことが必ず記載されていること。  
論文の題名  
著者及びその所属  
掲載（予定）雑誌名  
掲載（予定）年月                      記載例：      2005年10月      掲載予定
3. 作成方法
  - ①パソコン、ワープロ等により作成したものをコピーする。
  - ②最終的なゲラ刷が手元にある場合は、それを利用しコピーする。
  - ③原則として、両面カラーコピーとする。
  - ④写真、図表等は、できるだけ本文中に挿入する。  
挿入が困難な場合、後部頁にまとめても良い。
  - ⑤掲載ページがわかっている場合は、それにより下部中央に付すこと。  
わからない場合は、1頁から付すこと。
  - ⑥両面コピーした際、最後の用紙の最終頁まで印刷される場合は、表裏紙として白紙を1枚付けること。
  - ⑦製本は、ホッチキスにより、左側2カ所を確実にとめること。
4. 写真原稿について
  - ①白黒写真の場合は、コピーしてみて論文中の写真として問題ないと判断される場合は、通常のコピーでも良い。
  - ②カラー写真のある論文は、該当する頁のみカラーコピーを使用するか、別刷全てをカラーコピーとする。
  - ③白黒、カラーを問わず、論文中の写真としてわかりやすい状態にする。  
判断しがたい場合は、指導教授に相談する。

## 参考論文の提出について

1. 参考論文は、主論文を書くにあたり、参考にした論文ではありません。
2. 論文目録には、申請者自身が著者（ファースト・セカンドの別は問わない）となっている論文を全て記載してください。
3. 参考論文が10編を超える場合は、その内の10編以内を選び、学位申請の際に各6部提出してください。
4. 提出する参考論文の別刷の部数が不足する場合には、コピーし製本したもので結構です。（「主論文、参考論文の別刷作成要領」を参考にしてください。）
5. 参考論文提出時
  - ①提出する参考論文全部の右上に、論文目録に記載した番号を鉛筆で記載してください。
  - ②提出する参考論文別刷を番号順に並べ、6組セットする。



論 文 目 録

山口大学

報告番号	乙 第 号	氏 名	山 口 太 郎
<p>学位論文            ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ←題名            (○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○) ←和訳</p> <p>学位論文の関連論文            ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ←題名            (○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○) ←和訳            (著者：<u>Taro Yamaguchi</u>, ○○○○○, ○○○○○, ○○○○○)            Journal of ○○○ Vol.10 No.1 P.123-145 (2010年10月掲載)</p> <p>参考論文            1. ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ←題名            (著者：○○○○, ○○○○, <u>Taro Yamaguchi</u>, ○○○○○)            International Journal of ○○○ Vol.20 No.2 P.234-250 (2009年9月掲載)</p> <p>2. ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ←題名            (著者：○○○○, ○○○○, <u>山口太郎</u>, ○○○○○)            日本○○学会雑誌 第45巻 第5号 100～110頁 (平成23年4月掲載予定)</p> <p>作成上の注意            1. 学位論文, 学位論文の関連論文, 参考論文の題名が英文の場合は, ( ) 内に和訳を記載する。            2. 共著者について            論文が和文の場合は (著者：<u>山口太郎</u>, ○○○○) とし, 英文の場合は (著者：<u>Taro Yamaguchi</u>, ○○○○○) とする。            論文が共著の場合は, 氏名を「、」又は「, 」で区切り, 自分の名前に下線を引く。            3. 巻, 号, 頁について            論文が和文の場合 第1巻 第2号 123～135頁            論文が英文の場合 Vol. 1 No. 2 P.123 - 135            なお, 頁は「～」又は「-」いずれでもよい。            4. 掲載 (予定) 年月について            ( ) 内に掲載 (予定) 年月を記載し, 位置を右側に揃えてください。            論文が和文の場合 (平成22年10月), (平成22年)            論文が英文の場合 (Oct. 2010), (2010)            掲載予定の場合 (平成22年10月掲載予定), (Oct. 2010)            5. 参考論文は提出予定を含めて, 掲載の古い順に番号を付けて全て記載してください。            6. 論文目録が複数枚にわたる場合は, 2頁目以降は外枠のみで結構です。</p>			

履 歴 書

報告番号	乙 第 号		
氏 名	山口太郎 印	性別	男
生年月日	昭和55年 5月 5日 ※和暦（留学生は西暦）		
本 籍	山口県 ※都道府県（留学生は国籍）のみ		
現住所	山口県宇部市南小串1-1-1		
<p>学 歴</p> <p>平成〇〇年〇〇月〇〇日 山口大学〇〇学部〇〇学科 卒業</p> <p>平成〇〇年 4月 1日 山口大学大学院医学系研究科〇〇〇〇課程 〇〇〇〇〇〇〇専攻（〇〇〇〇〇〇分野） 入学</p> <p>平成〇〇年 3月31日 山口大学大学院医学系研究科医学博士課程 〇〇〇〇〇〇〇専攻（〇〇〇〇〇〇分野） 単位取得退学</p> <p>免 許</p> <p>平成〇〇年〇〇月〇〇日 医師免許取得（登録番号第〇〇〇〇〇〇号）</p> <p>研究歴</p> <p>平成〇〇年〇〇月〇〇日 } 山口大学医学部附属病院研修医</p> <p>平成〇〇年〇〇月〇〇日 }</p> <p>平成〇〇年〇〇月〇〇日 } 山口大学医学部附属病院医員（〇〇科）</p> <p>平成〇〇年〇〇月〇〇日 }</p> <p>平成〇〇年〇〇月〇〇日 } 山口大学研究生（〇〇学講座）</p> <p>平成〇〇年〇〇月〇〇日 }</p>			

## 職 歴

平成〇〇年〇〇月〇〇日	}	山口大学医学部附属病院研修医
平成〇〇年〇〇月〇〇日		
平成〇〇年〇〇月〇〇日	}	山口大学医学部附属病院医員（〇〇科）
平成〇〇年〇〇月〇〇日		
平成〇〇年〇〇月〇〇日	}	〇〇〇病院医師（〇〇科）
平成〇〇年〇〇月〇〇日		
平成〇〇年〇〇月〇〇日		〇〇〇市立病院医師（医長）（〇〇科） 現在に至る

## 作成上の注意

※医員，医師，教員（病院）は，（ ）内に診療科名を記載する。

教員（研究科），研究生は，（ ）内に分野名を記載する。

※職歴のうち，医学部附属病院医員（研修医を含む）並びに，医学系研究科，医学部，医学部附属病院の教員（講師，助教等）については，研究欄に同じものを記載してください。

※履歴書が複数枚にわたるときは，2枚目以降は外枠のみで結構です。



< 学位論文の見本（表紙） >

学位論文の題名

○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○

申請者氏名

氏名 ○○ ○○

申請者の所属

所属 山口大学大学院医学系研究科  
○○○○専攻 ○○○○分野

学位論文作成日

平成23年 4月

目 次

1. 要旨	1
2. 研究の背景	2
3. 目的	3
4. 方法	4
(1) 対象	4
(2) 方法	5
(3) 解析	6
5. 結果	7
6. 考察	8
7. 結語	9
8. 謝辞	10
9. 参考文献	11

山口大学大学院医学系研究科応用分子生命科学系専攻（博士後期課程）の医学系代議員会における学位審査実施要項(抄)

(趣旨)

第1条 この実施要項は、山口大学大学院医学系研究科応用分子生命科学系専攻の学位審査に関する細則（以下「細則」という。）第21条の規定に基づき、山口大学大学院医学系研究科医学系代議員会（以下「医学系代議員会」という。）における応用分子生命科学系専攻（博士後期課程）の学位審査に関し必要な事項を定める。

(定義)

第2条 この細則における用語の意義は、次に定めるところによる。

- (1) 「課程博士」とは、山口大学学位規則（以下「学位規則」という。）第3条第1項に定める学位をいう。
- (2) 「論文博士」とは、学位規則第4条第1項に定める学位をいう。

(予備審査)

第3条 博士の学位を得ようとする者は、学位申請に先立ち、予備審査を受けなければならない。

(論文博士の予備審査申請資格)

第5条 論文博士の学位申請前の予備審査を申請することができる者は、次のいずれかに該当する者とする。

- (1) 本研究科博士後期課程応用分子生命科学系専攻に3年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたのち退学し、1年以上経過した者
  - (2) 医学系研究科医学博士課程（旧医学研究科医学博士課程を含む。）に4年以上在学し、所定の単位を修得して、さらに、1年以上応用分子生命科学分野の研究指導を受けた者
  - (3) 大学の卒業生、大学院博士前期課程又は大学院修士課程修了者等については、本研究科応用分子生命科学系専攻において2年以上の研究歴を含め別に定める研究歴を有した者
  - (4) 前各号に掲げる者の他、医学系代議員会において申請資格が認められた者
- 2 前項により申請をする者は、原則として医学系代議員会が実施する外国語試験に合格しなければならない。ただし、本研究科博士前期課程（医学系）及び医学博士課程の合格者その他別に定める者についてはこれを免除する。

(予備審査の申請)

第6条 予備審査の申請は、申請しようとする者の特別研究を指導する教授（以下「指導教授」という。）の承認を得て、所定の期日までに学位論文等関係書類を添えて研究科長へ行うものとする。

なお、論文博士の申請者は、更に論文審査手数料を添えるものとする。

(優れた研究業績)

第7条 優れた研究業績は、山口大学大学院医学系研究科医学系代議員会大学院委員会（以下「大学院委員会」という。）の議を経て、医学系代議員会で認定するものとする。

(学位申請)

第10条 予備審査に合格した者は、指導教授の承認を得て所定の期日までに学位論文等関係書類を添えて学長へ学位を申請するものとする。

山口大学大学院医学系研究科応用分子生命科学系専攻（博士後期課程）の医学系代議員会における学位審査実施要項の申合せ（抄）

山口大学大学院医学系研究科応用分子生命科学系専攻（博士後期課程）の医学系代議員会における学位審査実施要項（以下「要項」という。）の規定に基づき、必要な事項について申し合わせる。

第1章 申請に関する事項

第1 予備審査申請期日について（要項第6条）

- 1 課程博士の予備審査申請期日は次のとおりとする。  
（省略）
- 2 論文博士の予備審査申請期日は、毎月15日までにを行うものとする。

第2 予備審査申請の書類について（要項第6条）

- 1 課程博士の予備審査申請に必要な書類は、次のとおりとする。  
（省略）
- 2 論文博士の予備審査申請に必要な書類は、次のとおりとする。
  - (1) 予備審査申請書（様式1-2号） 1部
  - (2) 論文目録（様式2号） 16部
  - (3) 学位論文 5部
  - (4) 学位論文の関連論文 16部
  - (5) 学位論文の要旨（様式3号） 16部
  - (6) 履歴書（様式4号） 16部
  - (7) 最終学校の卒業証明書又は卒業証書の写し 1部
  - (8) 外国語試験合格証明書 1部
  - (9) その他研究歴を確認できるもの 1部

第3 論文博士の研究歴について（要項第5条）

- 1 学位申請時には、次に定める必要な研究歴を満たしておかななければならない。  
ただし、医学系研究科医学系代議員会（以下「医学系代議員会」という。）が優れた研究業績をあげたと認めた場合は、研究歴を1年短縮することができる。
  - (1) 医学又は歯学の課程を修了した者は、次のとおりとするが、実地修練期間は含まない。
    - ア 基盤系の者 医学分野又は応用分子生命科学分野において5年以上
    - イ 展開系の者 医学分野又は応用分子生命科学分野において6年以上
  - (2) 医学又は歯学の課程を経ない者は、次のいずれかに該当する研究歴を有すること。
    - ア 理科系の大学院博士課程を修了した者 医学分野又は応用分子生命科学分野 5年以上
    - イ 理科系の大学院修士課程を修了した者 医学分野又は応用分子生命科学分野 6年以上
    - ウ 理科系の大学を卒業した者 医学分野又は応用分子生命科学分野 8年以上
    - エ その他医学系代議員会において、前各号と同等以上の学力があると認めた者
- 2 前項の研究歴は、次のいずれかに該当するものでなければならないものとする。
  - (1) 大学の医学又は関連学科において、専任教員として研究に従事した期間
  - (2) 大学の附属病院において、医員、研修医として研究に従事した期間
  - (3) 大学院医学系研究科（旧医学研究科を含む。）の医学系を退学した者の場合は、大学院に在学した期間
  - (4) 大学医学部の全日制の研究生、専修生として在学した期間
  - (5) 医学又は関連学科に係る権威ある研究施設等において、専任職員として研究に従事した期間
  - (6) 医学又は関連学科において研究に従事した期間で、大学院委員会が前各号と同等以上と認めた期間
  - (7) 基礎医学に関して3年以上研究に従事し、学位論文の関連論文を完成した後、引き続き権威ある研究施設を有する臨床医学機関で研究した場合は、その期間を基礎医学研究歴の継続とみなす
  - (8) 基礎医学及び臨床医学の双方にわたって研究した場合は、その期間を通算する。
- 3 権威ある研究施設等及びその他の研究歴は、次のものをいう。

- (1) 医学並びに関連学科に関する権威ある研究施設の研究歴  
 医学並びに関連学科に関する権威ある研究施設において専任職員として研究に従事した期間を研究歴として取り扱うものとする。  
 その研究施設は、次のとおりであり、それ以外の研究施設については、その都度、大学院委員会において協議するものとする。
- ア 国立感染症研究所
  - イ 国立保健医療科学院
  - ウ 国立がんセンター・病院
  - エ 国立循環器病センター
  - オ 国立遺伝学研究所
  - カ 国立精神・神経センター・病院・精神保健研究所
  - キ 自然科学研究機構の分子科学研究所，基礎生物学研究所及び生理学研究所
  - ク 国立国際医療センター
- (2) 外国における医学並びに関連機関の研究歴  
 外国の大学等でリサーチフェロー，クリニカルフェロー等として先進国地域で研究した期間（研究歴）の取扱基準は，次の条件のいずれも満たしているものとする。  
 なお，先進国地域以外については，その都度大学院委員会において協議するものとする。
- ア 研究先が国，公，私立の大学及び研究所であること。
  - イ 研究先から研究したことの証明があること。
  - ウ 研究歴に算入する期間は，最大限2年とする。
- (3) 本学部において以下の身分で研究に従事した期間
- ア 山口大学外国人研究者
  - イ 山口大学受託研究員
  - ウ 文部科学省内地研究員
  - エ 山口大学私学研修員
- 4 研究歴の計算は，学位1次審査に付議する前月の15日を計算日とし，日単位で計算する。  
 なお，端数日の合計が30日を超える場合は30日を1月として扱う。

#### 第4 優れた研究業績について （要項第7条）

優れた研究業績の基準は，次の各号のいずれかに該当するものとする。

- (1) 論文投稿時に公表されている最新の「JCR (Journal Citation Reports)」において，学位論文の関連論文が掲載された雑誌のインパクトファクターが2.0以上であること。
- (2) 学位論文の関連論文を含む筆頭論文を2編以上有し，論文投稿時に公表されている最新の「JCR」において，雑誌のインパクトファクターの合計が3.0以上であること。

#### 第5 学位申請期日について （要項第10条）

- 1 課程博士の学位申請の最終期日は，原則として第1次審査を付議する2月（9月修了予定者は7月）の医学系代議員会（定例）開催日前週の金曜日までとする。  
 ただし，同日までに学位論文の関連論文（学位論文の基になった論文）が受理された旨の書類が提出できない場合に限り，指導教授の了解のもと，最終提出期日を次のとおり延長することができる。
- (1) 要項第4条第1項の者については，2月15日（9月修了予定者は8月15日）までとする。
- (2) 要項第4条第2項の者については，退学した日から1年以内に到来する2月15日（9月の退学者は8月15日）までとする。
- 2 論文博士の学位申請期日は，原則として，第1次審査を付議する医学系代議員会（定例）開催日前週の金曜日までとする。  
 なお，同日において研究歴を満たしていない者については，研究歴を満たす月の翌月における本文を準用した期日までとする。

#### 第6 学位申請の書類について （要項第10条）

- 1 課程博士の学位申請に必要な書類は，次のとおりとする。  
 （省略）
  - 2 論文博士の学位申請に必要な書類は，次のとおりとする。
- (1) 学位申請書（様式5-2号）
  - (2) 論文目録（様式2号）

1部  
11部

(3) 学位論文	11 部
(4) 学位論文の関連論文	6 部
(5) 学位論文の要旨 (様式 3 号)	11 部
(6) 参考論文	6 部
(7) 履歴書 (様式 4 号)	11 部
(8) 承諾書 (様式 6 号)	1 部
(9) 学位申請者調書 (様式 7 号)	1 部

第 7 学位論文の関連論文について (申合せ第 2, 第 6)

学位論文の関連論文 (以下, 第 7 において「関連論文」という。) は次の要件を満たすものとする。

(1) 本学医学部又は本学大学院医学系研究科 (旧医学研究科を含む。) から発表されたものでなければならない。

ただし, 申請者の所属機関として本学医学部又は本学大学院医学系研究科 (旧医学研究科を含む。) の名称が記載されていない場合, 本学において指導を受けた論文であることを証明しなければならない。

(2) ピア・レビュー制度を有する雑誌に掲載又は掲載予定のものでなければならない。

(3) 単著又は, 共著とする。ただし, 共著の場合は筆頭著者でなければならない。

なお, 申請者が共同筆頭著者 (イコールコントリビューター) の場合は, 他の共同筆頭著者 (イコールコントリビューター) から, 当該論文を学位論文として使用しない, および過去においても使用していない旨の承諾書を予備審査申請書に添付するものとする。

(4) 形式は, 欧文又は和文とする。ただし, 共著の場合は欧文でなければならない。

(5) 共著者数は制限を設けない。ただし, 著者数が 10 名を越える場合には, 指導教授の理由書を予備審査申請書に添付するものとする。

(6) 次の時期に掲載されたものでなければならない。

ア. 「課程博士」にあつては, 本学大学院医学系研究科 (旧医学研究科を含む。) に入学以降投稿し掲載された論文とする。

ただし, 予備審査申請日において, 6 年を経過している論文により申請を行う場合は, 指導教授の理由書を添付するものとし, 大学院委員会で審議のうえ, 承認されなければならない。

イ. 「論文博士」にあつては, 予備審査申請日から, 過去 6 年以内に投稿し掲載された論文とする。

ただし, 6 年を経過した論文により予備審査申請を行う場合は, 上記「ア」のただし書きを準用する。

ウ. 高度学術医育成コースを履修する者が, 医学部在学時に, 筆頭著者として発表した英文論文は, これを関連論文とすることができる。

ただし, 当該論文を関連論文として申請を行う場合は, 指導教授の理由書を添付するものとし, 大学院委員会で審議の上, 承認されなければならない。

(7) 共著の場合, カレントコンテンツ (ライフサイエンス又はクリニカルメディシン) に収録されている雑誌に公表されたものでなければならない。ただし, カレントコンテンツに収録されていない雑誌の場合は, ピア・レビュー制度を証明するものを提出し, 大学院委員会で審議のうえ, 承認されなければならない。

(8) ショートコミュニケーションの場合は, 欧文であること及び論文投稿時に公表されている最新の「J C R (Journal Citation Reports)」において, インパクトファクターが 2.0 以上の雑誌に公表された論文でなければならない。

(9) ケースレポート (症例報告) 及びリサーチレター並びにそれに準じる形式の論文は, 原則として関連論文とすることができない。なお, 関連論文とする場合は, 予備審査申請前に大学院委員会で審議のうえ, 承認されなければならない。

(10) 印刷公表されている場合, 別刷りの代わりに掲載雑誌をコピーし製本したもので良い。その場合, 原則として両面コピーとし, カラーで印刷されたものは, カラーコピーとする。

(11) インターネット上で公表され, 別刷が無い場合, 別刷に準じて論文を作成する。

(12) 掲載予定 (インターネット上で掲載公表する場合も含む) の場合は, 掲載予定であることを証明するもの (論文受理証明書, 論文が受理された旨の電子メール文) のコピーを 1 部添付しなければならない。

(13) 雑誌は, 学会誌とする。なお, 学会誌以外でもカレントコンテンツに収録されている雑誌及び the Bulletin of the Yamaguchi Medical School (単著・共著いずれも可) も認める。

(14) 予備審査申請時における関連論文については, 掲載予定前の段階の論文でも可能とする。

第8 学位論文について (申合せ第2, 第6)

- 1 学位論文は、学位論文の関連論文を基にしたもので、次の内容から構成されたものとする。
  - (1) 要旨
  - (2) 研究の背景
  - (3) 目的
  - (4) 方法
  - (5) 結果
  - (6) 考察
  - (7) 結語
  - (8) 参考文献 (学位論文の関連論文を含む関係論文を明記すること)
2. 優れた研究業績として申請する場合、学位論文の関連論文をもって学位論文に代えることができるが、この場合、「研究の背景」及び「要旨」を2,000~2,500字程度にまとめた「学位論文の関連論文の研究背景及び要旨」を添付しなければならない。
3. 学位論文は、和文 (留学生等外国人の場合は欧文でも可) で作成する。前2の書類も同様とする。

第9 参考論文について (申合せ第2, 第6)

- (1) 参考論文は、学位論文の関連論文以外の論文をいい、大学又は大学院在籍中あるいは大学卒業後等に作成したものとし、共著の場合は、筆頭著者以外も可とする。
- (2) 参考論文は数編あることが望ましい。
- (3) 論文目録には全編掲載するが、提出する論文は代表的なもの10編以内とする。
- (4) 共著論文の場合、論文目録には、著者全員の氏名を論文に掲載されている順に記載しなければならない。
- (5) 掲載予定 (インターネット上で掲載公表する場合も含む) の論文については、掲載予定であることを証明するもの (論文受理証明書、受理された旨の電子メール文) のコピーを1部添付するとともに、別刷は学位論文の関連論文に準じて作成しなければならない。
- (6) 印刷公表されている場合、別刷りの代わりに掲載雑誌をコピーし製本したものでも可とするが、原則として両面コピーとし、カラーで印刷されたものは、カラーコピーとしなければならない。

第10 学位論文の関連論文の共著者にかかる承諾書の取り扱いについて (申し合わせ第6)

- (1) 共著者が死亡している場合は、死亡していることを第3者が証明した書類を添付しなければならない。
- (2) 共著者が所在不明で、承諾を得ることが困難な場合は、承諾書に代わる書類 (理由・経緯を記載したもの) を指導教授が提出しなければならない。
- (3) 承諾書は、共著者が署名 (ただし自署) したものとし、1枚による連記又は複数枚による単記のいずれでも可とする。

第11 論文博士の外国語試験について (細則第5条)

- (1) 外国語試験は、英語とする。
- (2) 予備審査申請前に医学系代議員会が実施する外国語試験に合格しなければならない。ただし、医学系代議員会が実施する入学試験に合格し、退学した者は、これを免除する。
- (3) 外国語試験の実施については、別に定める。